

ノーシード校

【春季県大会3回戦進出】

今春は3回戦敗退で夏はノーシードも、投打とも戦力はそろっている

慶応義塾

グラウンド閉鎖で泣いた春
夏は一気のごぼう抜き誓う名門

「今年は夏に間に合うかどうか……。この春はバッテリーや劣勢の展開での弱さといった不安がすべて出てしまいました」と森林貴彦監督が振り返った春季大会は県3回戦で敗退。

実はいる。投手陣は総合力の高い前田晃宏（3年）と、最速145kmの豪腕サウスボー・荒井駿也（3年）の二枚看板を擁しており、打線も粒ぞろい。今春は一、二番でコンビを組んだ宮原慶太郎（2年）と横地広太（2年）は出塁率が高く、パンチ力も持ち合わせている。強いスイングがで

たのだが、まさかの事態が起こる。今年1月からの約2カ月間、コロナ禍により学校が遠隔授業を採用したのに伴い、グラウンドも閉鎖。そのため選手たちは練習場所の確保にも困る状況となったのだ。金岡優仁主将（3年）は「近所の公園だったり、中学時代のチームの練習に参加させてもらったり。大人数では集まれませんし、たった1人で練習しなければいけない選手もいました」と振り返る。

考えていますが、今は前田頼みの状況で枚数が不足している」ことから、投手は二枚看板以外にも積極起用した。スライダーが得意な宮腰悠生（2年）、変化球中心の投球でテンポの良さが光る田中瑞希（3年）、遅い球を巧みに使う重井恒佑（3年）が実戦経験を積んだ。打撃についても「一人ひとりがスイングの強さとミート力を掛け算で上げていかなければいけない。前を向いてやっていきたい」と、森林監督は締めた。

継投策への布石

練習不足が影響し、春季大会では実力を発揮できなかった。それが冒頭の森林監督の言葉につながることになる。さらに「いろいろな面で足りていない」とこぼした指揮官は、「継投策を

他チームに比べ、一歩も二歩も遅れてのリスタートとなっているが過去は取り戻せない。夏の大会までの3カ月間、突っ走るしかない」と覚悟を決めた金岡主将の下、ノーシードから一気のごぼう抜きを狙う。

チームは「もう一超」を新スローガンに、これまでの自分を超越することを目標に始動し



エース・前田は元広島・前田智徳氏を父に持つ



横浜商との今春の県3回戦、五番・権藤が初球をとらえて右越えソロアーチ

新チーム結成以降の成績

【2020秋】

横浜地区予選E	○	19 - 4	港北
横浜地区予選E	○	21 - 1	中大横浜
県大会2回戦	○	7 - 5	三浦学苑
県大会3回戦	●	1 - 6	桐蔭学園

【2021春】

横浜地区予選G	○	15 - 0	柏陽
横浜地区予選G	○	42 - 7	横浜学園
横浜地区予選G	○	18 - 0	岸根
県大会2回戦	○	12 - 2	厚木北
県大会3回戦	●	3 - 7	横浜商

2021春の基本オーダー

位置	氏名	学年
(二)	宮原慶太郎	②
(中)	横地 広太	②
(三)	今泉 将	③
(一)	小堀 政泰	③
(左)	権藤 大	③
(右)	金岡 優仁	③
(捕)	吉開 鉄朗	②
(遊)	二宮慎太郎	③
(投)	前田 晃宏	③

※丸数字は学年

過去5年の夏の神奈川県大会成績

年度	結果	①	②	③	④	⑤	準々	準決	最終結果
16	準	-	○	○	○	○	○	●	3 - 9 横浜
17	八	-	○	○	○	○	●		8 - 11 桐光学園
18	優	-	○	○	○	-	○	○	7 - 5 桐光学園
19	④	○	○	○	●				3 - 16 東海大相模
20	⑤	-	○	○	○	●			4 - 18 相洋

SCHOOL DATA

正式名称 慶応義塾高等学校 住所 横浜市港北区日吉4-1-2
責任教師 赤松衛樹 監督 森林貴彦 主将 金岡優仁
2020年秋結果 神奈川県大会3回戦 2021年春結果 神奈川県大会3回戦
甲子園通算成績 通算:19勝18敗 春:出場9回 5勝6敗(8強=1960, 2005)
夏:出場18回 14勝12敗 (優勝=1916, 準優勝=1920, 8強=1917, 19, 2008)

取材・文=大平 明 写真=斎藤 豊